



ライセンスの操作

Cisco Unified Presence (CUP) は、Cisco Unified Communications 環境の全体的な価値を実現するために不可欠なコンポーネントで、ユーザの在席状況に関する情報を収集します。Cisco Unified Personal Communicator (CUPC) や Cisco Unified Communications Manager などのアプリケーションは、この情報を使用してコラボレーティブに通信するための最も効果的な方法を決定することで、生産性を高めることができます。

BAT の [CUP] メニューを使用して、すべての CUP ユーザと CUPC ユーザのライセンスを更新およびエクスポートできます。

CUP メニューの使用方法

この項では、BAT の [CUP] メニューと、それを使用して CUP ユーザと CUPC ユーザを更新およびエクスポートする方法について説明します。

[一括管理] メニューの [CUP] の下に新しく追加された項目には、次の 2 つがあります。

- [CUP/CUPC ユーザの更新]: [一括管理] > [CUP] > [CUP/CUPC ユーザの更新]
- [CUP/CUPC ユーザのエクスポート]: [一括管理] > [CUP] > [CUP/CUPC ユーザのエクスポート]

CUP/CUPC ユーザの更新

ライセンスを追加または変更する手順は、次のとおりです。

ステップ 1 [ファイルのアップロード/ダウンロード] ウィンドウを使用して、csv ファイルをアップロードします。



(注) csv ファイルのアップロードでは、必ず、正しい BAT ターゲットとトランザクションタイプを選択する必要があります。

ステップ 2 [CUP/CUPC ユーザの更新 (CUP/CUPC User Update Configuration)] ウィンドウに移動し、アップロードする csv ファイルを選択してジョブを送信します。



(注) ジョブをすぐに実行するか、後で実行するかは、対応するオプション ボタンをクリックして選択できます。[後で実行] を選択した場合は、[ジョブスケジューラ (Job Scheduler)] ウィンドウを使用して、このジョブをスケジュールし、アクティブ化する必要があります。

ステップ 3 [ジョブスケジューラ (Job Scheduler)] ウィンドウで、送信した BAT ジョブの進行状況を監視します。

CUP/CUPC ユーザのエクスポート

[ユーザエクスポートのクエリー] ウィンドウを使用すると、すべての CUP ユーザと CUPC ユーザの現在のライセンス情報を取得できます。



(注) 現時点では、一部の CUP ユーザを選択するオプションはありません。システム内のすべての CUP ユーザがファイルにエクスポートされます。

ライセンスをエクスポートする手順は、次のとおりです。

ステップ 1 [ユーザエクスポートのクエリー] ウィンドウに移動します。

ステップ 2 [検索] をクリックして、基本的なユーザ情報とユーザのライセンス ステータスを確認します。

ステップ 3 [次へ] をクリックして、[CUP/CUPC ユーザのエクスポート (Export CUP/CUPC Users Configuration)] ウィンドウを表示します。

ステップ 4 エクスポートするファイルの名前を指定し、[送信] をクリックして BAT ジョブを開始します。

ステップ 5 [ジョブスケジューラ (Job Scheduler)] ウィンドウに移動し、送信した BAT ジョブの進行状況を確認します。



(注) ジョブが完了したら、[ファイルのアップロード / ダウンロード] ウィンドウに移動して、エクスポートした .csv をダウンロードできます。



(注) その他の BAT 機能の詳細については、『Cisco Unified CallManager Bulk Administration ガイド 5.0(4)』を参照してください。